

計画の名称	リニア開業を見据えた岐阜・長野圏域における地域の魅力を活かした広域観光活性化計画（重点）											
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	岐阜県											
計画の目標	岐阜県と長野県は、今後リニア中央新幹線の中間駅を核とした圏域形成強化が期待されており、また、歴史的街道である中山道を有し、歴史・文化・自然が共存する魅力ある地域である。 そこで、中部圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「新時代の観光交流促進プロジェクト」を推進するため、両県における特色のある観光資源を活かし、 地域内外からの来訪頻度を高めるべく長期滞在を促進する取り組みが進められている。これらの取り組みに合わせて必要な基盤整備を実施することで、 当該エリアのさらなる誘客拡大を図り、観光振興による地域の活性化を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	849	A	849	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	<b>【岐阜県・長野県 共通目標】</b> 岐阜県東濃地域、長野県木曾、下伊那地域の観光入込客数1,778万人（R6）から2,104万人（R12）に増加（326万人（18%）の増加） <b>【岐阜県・長野県 共通目標】</b> 観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 - R6の年間観光入込客数） / （R6の年間観光入込客数）	1778万人	万人	2104万人
2	<b>【岐阜県 単独目標】</b> 岐阜県東濃地域の観光入込客数1,151万人（R6）から1,427万人（R12）に増加（276万人（24%）の増加） <b>【岐阜県 単独目標】</b> 観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 - R6の年間観光入込客数） / （R6の年間観光入込客数）	1151万人	万人	1427万人
3	<b>【岐阜県 単独目標】</b> 拠点施設と高速道路ICを結ぶルートにおける1日あたりの全車両の総アクセス時間を25時間・台 / 日（R12）短縮 <b>【岐阜県 単独目標】</b> 道路整備に伴う拠点施設「岩村城下町」と中津川ICを結ぶルートのアクセス短縮時間に交通量に乗ることにより、1日の総短縮時間を算定 （アクセス時間短縮効果）＝（整備前のアクセス時間－整備後のアクセス時間）×日交通量（計画交通量）	0時間・台 / 日短縮	時間・台 / 日短縮	25時間・台 / 日短縮

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R08	R09	R10	R11	R12			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	改築	(主)中津川田立線 上 鐘工区	道路拡幅 L=200m	中津川市						130	-	
	A11-002	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	都道府 県道	改築	(主)中津川田立線 県 境工区	バイパス L=1,185m	中津川市						495	-	
	A11-003	道路	一般	岐阜県	直接	岐阜県	国道	改築	(国)363号 阿木川上工 区	道路拡幅 L=1,620m	中津川市						224	-	
											小計						849		
											合計						849		